

ひがの義幸 の決意

夢ある栃木創生を推進



先ずは、昨今の異常気象の影響により豪雨災害や突風被害・降雹被害に遭われた多くの被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。被災を受けられた県民の皆様につきましては、県議会として1日も早い復旧・復興、そして生活再建の為に全力を尽くして参ります。

さて、先に行われました県議会議員の選挙につきましては、多くの皆様にご支援を賜わり11,089票と言う高い得票を頂き、無事再選を果たす事が出来ました。

おかげさまで、現在、自民党栃木県連政務調査会長として県全体の政策立案・予算編成の中心的役割を担い、日々忙しく活動させて頂いております。

本年は、奇しくも栃木県誕生150年の節目を迎えました。

明治維新における最大の改革、廃藩置県によって下野国には10の県が誕生しました。その後、合併、併合を繰り返して宇都宮県と栃木県とに集約され、明治6年宇都宮県を栃木県が併合（宇都宮県を廃して栃木県に吸収）し、現在の栃木県が誕生しました。この歴史的事実を見ても、当時の栃木県（私たちの住む栃木市周辺エリア）は、政治・経済・文化の中心地だった事を窺い知る事ができます。

今でもこの栃木市に、県庁があったら如何だったのか？

新幹線が停まり、LRTが街中を行き交う。大型ショッピングモールには若者が溢れて賑わいと活気に満ち、整備された街中を、おじいちゃん、おばあちゃん、そして私たちの大切な子供たちが笑顔いっぱい闊歩する。

大きな企業が建ち並び自分のスキルを活かし

た職業に就く事ができ、安心して結婚・子育てが出来る夢のある街。障がいがあっても、住み慣れた自分のふるさとでいきいきと自身の尊厳を守りながら共生出来る社会。

失われた歴史と時間は取り戻すことは出来ませんが、これから作る未来に向けての栃木市づくりと、県南の拠点都市づくりの為に、様々な規制や既成概念を乗り越えて力強くチャレンジして行きたいと思えます。

コロナウイルス感染症も感染症法上の2類から5類に引き下げられ、いよいよこれから社会生活と日常を取り戻すべく様々な活動が展開されます。

過去の経験を活かし、しっかりとした医療提供体制を整えながら地域経済の再構築とコミュニティの復活にも全力で取り組んで参ります。

後援会の皆様の更なるご活躍とご健勝を祈念し、ご挨拶いたします。

(栃木県議会議員 日向野義幸)



政調会の突風被害現地調査（野木町）

県議選・栃木市選挙区総括

県議選・日向野陣営の選挙戦は、県名発祥の地である栃木市を再び栃木県の中心とするような様々なチャレンジをスタートさせる日向野義幸の決意のもとに「安心と夢のあるまちづくり」政策を掲げ、トップ当選を目指して最後まで頑張り抜きました。

日向野義幸の得票は、栃木市選挙区の投票率が、前回選挙を大幅に下回った中であっても、前回を上回る得票を獲得しました。

目標としたトップ当選（181票差）には至りませんでした。全力を尽くして頑張った結果であり、選挙戦の総括は、満足に近い「善戦」としました。

県議選・栃木市選挙区の状況は次のとおりです。

有権者 129,381人（前回133,595人）4,214人の減少。

投票率 栃木市37.68%（前回45.81%）8.13%の低下。

各地区の投票率は、西方46.78% 栃木39.84%（皆川投票所51.68%、栃木西中47.11%）都賀37.24% 大平34.75% 藤岡34.48%

岩舟33.68%でした。

投票者 有効投票48,085票（前回60,020票）で、約2割（11,985票）の減少。

立候補者数 5人（前回6人）

候補者別得票数
保母欽一郎 11,270票
ひがの義幸 11,089票
琴寄 昌男 9,052票
平池 紘士 8,460票
板津 由華 8,214票



注目の板津由華候補の獲得した得票は、前回の県議選で増山敬之候補の得票（8,212票）より2票多い得票でした。

板津候補は、女性候補者の進出に期待する世論を背景に、女性と若者をターゲットにしたネット選挙を展開しようです。

栃木市に知名度のない新人候補者が約1か月の選挙活動で、当選ラインにせまる得票を獲得できることを証明した事になり、今後の県議選・栃木市選挙区に一石を投じた選挙戦となりました。

(文・選対本部長 古澤悦夫)

未来ネットワーク通信

ひがの義幸
県政だより

2023.8

とちぎを守る。命を守る。

県議選を振り返る

選対本部発会式

令和5年2月11日に日向野義幸後援会総連合会恒例の「新春の集い」に合わせ、ひがの義幸選挙対策本部発会式が開催され、「役員選出・委嘱書の交付」を行い選対本部が発足しました。

この時点では栃木市選挙区は現職以外に立候補の動きがなく「無風状態」でしたが「備えあれば憂いなし」エンジン全開で選挙戦を進めることになりました。



選対本部役員就任挨拶

に向けた選挙戦のスタートが切られました。

総決起大会

3月27日午後7時から栃木市文化会館で「県議選・日向野義幸総決起大会」を会場いっぱいのお集まりにお集まりいただき開催いたしました。

決起大会には、来賓として茂木自民党幹事長をはじめ国会議員の皆さん、大川市長、そして、日向野支援市議の皆さんにも駆け付けていただき「激励の言葉」をいただきました。

決起大会では、古澤本部長から日向野義幸「支援の輪」拡大のお願い。日向野県議からは先端産業集積エリア構想をはじめ、「情報・通信データセンター」誘致などの政策に全力で取り組むとの決意が述べられました。

街頭演説会

県議選告示後の選挙期間中の土・日については「街頭演説会」を集中的に行い



茂木幹事長の応援演説（栃木駅北口）



自転車遊説で投票よびかけ



総決起大会の様子（ガンパロー）

ました。特に4月2日（日）は栃木市の市街地など14か所の街頭演説会を開催し、ひがの義幸への投票を呼びかけました。

最終日の4月8日（土）は栃木駅北口で茂木自民党幹事長迎えて大街頭演説会となりました。候補者日向野義幸は自転車で街頭からの呼びかけを行いながら「元気いっぱい」の会場入りとなりました。

当選報告会

4月9日午後9時30分、栃木市選管の開票速報で「日向野義幸当選確定」が出て、後援会事務所内が集まった多くの皆さんから歓声が上がりました。

9時44分に11,089票の確定票が発表になり事務所前広場では、喜びにあふれた当選報告会が行われました。



喜びの当選報告会

選挙事務所の風景



事務所総出で選挙ピラの証紙貼り作業



茂木幹事長の陣中見舞

後援会からのお知らせ



5月より後援会事務局としてお世話になっております、鶴見晶子と申します。

わからない事も多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、よろしくお願ひします。

祈願祭

令和5年3月31日午前9時より太平山神社神官のもとで祈願祭を行い、選挙運動の安全と、県議選の「必勝」を祈願いたしました。

安全祈願はいたしました。選挙期間中は、事故を起こさないよう十分注意を払い、また「必勝祈願」は、日向野陣営一同が心を一つに「選挙運動」頑張りましたので神様から「当選」のご褒美がありました。

出陣式

祈願祭に続き、10時から栃木市片柳町サンプラザで選対本部役員と地区選対役員による出陣式を開催しました。

トップ当選を目指し、さらなる支持者拡大

編集・発行 ひがの義幸後援会総連合会
発行日 令和5年(2023)8月18日
編集発行責任者 高田 良久
事務局 〒328-0075 栃木県栃木市箱森町7-9
TEL 0282-23-8855 FAX 0282-23-8856
E-mail info@higano.jp

■ひがの義幸 ホームページ・ツイッター アドレス
H P www.higano.jp
Twitter https://mobile.twitter.com/yoshiyukihigano